

一般会計
補正予算
(第4号・7号)

農業者の渇水対策と食料品などの物価高騰への支援

営農とこどもの食を支援します

詳しくは
コチラ

与謝野町議会9月定例会において、定額減税調整給付金（不足額給付）、渇水対策支援、物価高騰に伴うこどもの食支援、認定こども園施設整備、農業用水路の改修費増額などを盛り込んだ補正予算が可決・成立しました。なお、補正後の一般会計総額は139億4,001万円です。

図 企画財政課 ☎ 43-9015

補正予算額 (第4号・7号)

2億5,318万円

※千円未満は切り捨てています

普通会計決算を
一般家庭の家計簿に例えると…

年間の収支は3万円の黒字

金額が大きく、使用されている用語も聞き慣れない、町の決算内容。

単純に比べることはできませんが、令和6年度普通会計歳入決算額121億1,259万円を、年収450万円の「よさのさん」の家計に置き換えて例えてみます。

よさのさんの
家計簿を見てみましょう

収入合計：4,500,000円

・給料、パート収入など	937,000円
・預金引き出し	40,000円
・仕送り、援助など	3,333,000円
・ローンの借入金	190,000円

支出合計：4,470,000円

・食費	940,000円
・医療費	609,000円
・ローン返済	545,000円
・家の増改築、修繕、車などの購入	285,000円
・光熱水費、日用生活品など	617,000円
・仕送りなど	1,450,000円
・預金積み立て	24,000円

拡 農業生産支援事業

※ 8月専決

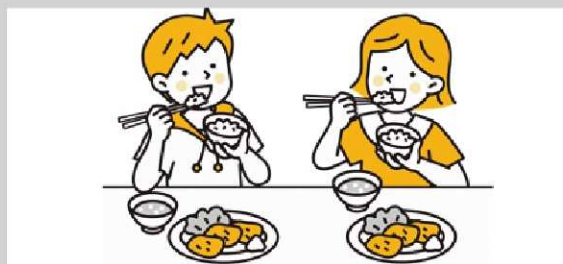


例 年より早い梅雨明けと少ない降雨により、水不足の影響で収量の減少や品質の低下が懸念される水稻や、高温・渇水の影響を受ける園芸作物について、農業経営を維持するための器機購入などを支援します。

図 農林環境課 ☎ 43-9023

100万円

New 「こどもの食」への支援



国 の物価高騰対策を活用し、町立小・中学校と認定こども園における給食賄い材料費の増加分、私立認定こども園・幼稚園の給食費の高騰分、さらにこども食堂の運営費を支援します。

図 学校教育課 ☎ 43-9025

子育て応援課 ☎ 43-9024

1,822万円

拡 定額減税調整給付金事業

※ 8月専決

国 の総合経済対策の一環として実施された「定額減税・調整給付金」について、令和6年分の所得税が確定したため、同年の推計所得税と実際の所得税に差が生じた方などを対象に、不足額を給付します。

図 住民税務課 ☎ 43-9020

6,725万円

拡 農業用施設維持管理事業

経 年劣化で陥没している無双川（下山田）の水路改修を実施します。

図 農林環境課 ☎ 43-9023

4,700万円

拡 認定こども園施設整備事業

野 田川地域の認定こども園整備にあたり、建設予定地となる旧石川保育所園舎の解体工事の実施ほか、新園舎建設に使用する石川財産区の木材について、調達から加工・搬入までを監理するコーディネート業務を行います。

図 子育て応援課 ☎ 43-9023

5,517万円

拡 道路維持管理事業

町 道施設の老朽に伴う陥没箇所などの修繕を行います。

図 建設課 ☎ 43-9014

670万円

決算審査意見書

※ 広報紙用に編集をしています

与謝野町では第2次総合計画に掲げる7つの分野を基盤に、町政の基本政策との整合を図りながら、「人・環境・未来にやさしいまちづくり」を進めている。令和6年度からは、学校給食センター建設や野田川地域認定こども園の整備、大規模施設事業の用地取得など、多額の予算を投じた取り組みを開始した。また、障害児通学支援や移住・定住支援、家計支援と省エネを両立させた事業など、生活に直結するソフト施策にも力を注いでいる。

財政運営においては、当初は基金繰り入れを見込む厳しいスタートであったが、交付税増収や基金の活用により、一定の安定を確保した。ただし、自主財源比率が低く、社会経済の変動に脆弱であるため、スクラップアンドビルドを徹底し、事務事業評価とPDCAサイクルを確実に運用することが不可欠である。

一方、介護保険条例改正の誤りによる不適切な保険料徴収という重大事故が発生した。これは内部統制や法令遵守の不備を示すものであり、審査委員会の機能強化やチェック体制の整備が急務である。再発防止の姿勢を徹底しなければならぬ。

「令和6年度一般会計歳入歳出決算および基金運用状況審査意見書」の全文は議会事務局で閲覧できるほか、町ホームページで公開しています。



町ホームページ

与謝野町監査委員会

田中 真一
あな ちゅう
安達 種雄

さらに、働き方改革の観点からは、会計年度任用職員の増加や正規職員数の減少、部署ごとに大きな差がある長時間労働など、職員体制に課題がある。業務の見直しや適正な外部委託、機械化の導入、正規職員、特に技術職の採用強化などの改革が急がれる。職員が自信と勇気を持って、業務に取り組める環境づくりが求められている。

以上を踏まえ、与謝野町が直面する課題は、財政健全化、内部統制の強化、働き方改革、公共施設の再編など多岐にわたる。町民の暮らしを第一に据え、町長を先頭に行政一丸となって「人・自然・伝統 与謝野で織りなす新たな未来」の実現をめざすことが期待される。